

新刊書紹介 「きっと誰かに教えたいくなる蚊学入門」

編集委員会

このたび一盛和世先生(長崎大学客員教授/James Cook University プロフェッショナルリサーチフェロー)が「きっと誰かに教えたいくなる蚊学入門」を発刊されましたので紹介します。

「どんな蚊がいるの?」、「蚊のからだはどうなっているの?」、「蚊の一生は?」、「ボウフラはどこから発生するの?」、「蚊は1億年以上前から出現していた?」、「どうやって血を吸うの?」、「どんな血が好き?」、「なぜ高層階に蚊は来られるの?」、「蚊柱は婚活パーティーなの?」、「羽音でラブソング?」、「どうやって蚊から身を守る?」、「昔の人はどうやって刺されないようにしたの?」、「蚊とり線香は日本で開発した!」、「蚊と戦う日本ペストコントロール協会!」、「蚊は感染症を運ぶ一番の悪者!」、「蚊とオリンピック」、「住友化学の防虫蚊帳(オリセットネット)がマラリア対策に大貢献!」、「クレオパトラも平清盛もマラリアにかかった!」、「蚊の集め方、飼育の仕方」、「蚊に刺されやすい人、刺されにくい人」、「蚊刺されはアレルギー!」、「蚊の解剖やってみる?」

そのほか、「蚊の折り紙」、「蚊の書道」、「蚊の歌」、「蚊のオブジェ」を紹介されています。

【一盛先生のご紹介】

玉川大学農学部卒業、東京大学医科学研究所で佐々学博士のもと熱帯病、蚊、フィラリ

アを学ぶ、ロンドン大学衛生熱帯医学校にてマラリアの研究で学位取得、WHO勤務で太平洋諸島・中南米・アフリカで蚊の研究に取り組む、太平洋リンパ系フィラリア症制圧計画でチームリーダー、本部ジュネーブで統括官を歴任、2019年に日本科学未来館で「ぶ〜ん蚊祭」を主宰。

【書籍情報】

書名：きっと誰かに教えたいくなる蚊学入門

編集者：一盛和世、執筆者：谷川 力、茂手木真司、沢辺京子、皆川恵子、忽那賢司、大滝倫子、ほか20名、

出版社：緑書房 B6版、256頁

定価：本体1,800円(税別)

ISBN978-4-89531-596-8

